

札幌エルムカントリークラブ



梶山義夫社長

札幌エルムカントリークラブ(本社・札幌市、コース・恵庭市、梶山義夫社長)は、東西2コース36ホ

ールを持つ広大なゴルフ場である。青少年や初心者にもゴルフに親しんでもらうために、ショートコース(9ホール)も併設している。

東コースは北海道倶楽部対抗競技の開催コースとして知られ、地形的に変化に富み戦略的に面白い。また、西コースは過去に2度北海道オープンが開催され、フラットな地形でフェアウェイも広く、まさに北海道ならではの自然を巧みに利用したコースとなっている。

札幌冬季オリンピックに沸いた1972(昭和47)年2月に会社が設立され、翌年6月に開場以来、札幌市近郊の庶民的で気軽に楽しめるゴルフ場として、多くのプレーヤーに親しまれてきた。

同クラブの運営は、信頼「誠実」「責任」を基本に据え、「お客様第一」「社員・従業員尊重」「戦略的経営」の基本理念のもとで積極的な事業展開を図っている。

「お客様第一」については、ホスピタリティ(心かからのおもてなし)を旨とする顧客満足度の向上を重視している。昨年

“楽しいゴルフ”の提供が使命 「ホスピタリティ」の実践も

顧客満足度の向上を目指す

は、日本経営品質賞受賞企業の関係者を招いての講演会を開催するなど、

「顧客満足度をさらに高めるには、従業員教育が

ポイントです。われわれの使命は「楽しいゴルフ」という時に役立つよう、地元の恵庭消防本部の職員との協力により、「救急医療実施訓練」も始まっている。

同クラブでは常に新しいことにチャレンジしている。ハード面では、夜間照明設備や自動散水設備の導入、キャディの立ち乗りカートの導入などを他に先駆けて取り入れてきた。

「顧客満足度をさらに高めるには、従業員教育がポイントです。われわれの使命は「楽しいゴルフ」という時に役立つよう、地元の恵庭消防本部の職員との協力により、「救急医療実施訓練」も始まっている。

同クラブでは常に新しいことにチャレンジしている。ハード面では、夜間照明設備や自動散水設備の導入、キャディの立ち乗りカート

また、ソフト面では今年、コンピュータシステム(エドシステム)を導入し、新規導入し、サービス内容がさらに充実している。



北海道ならではの広大なコースを持つ札幌エルムカントリークラブでは経営革新を図っている

来場の際にカ

▽コース所在地▽恵庭市島松沢55番地▽URL
http://www.elmc.com